



第1輸送航空隊司令 兼 小牧基地司令着任



12月22日(金)第1輸送航空隊司令 兼 小牧基地司令として、防衛監察本部より鮫島 建一空将補が着任され、慰霊碑献花の後、第8格納庫にて着任式が行われました。

また、12月1日(金)には副司令として、西部航空方面隊司令部より玉越 香苗1等空佐も着任されており、小牧基地は新たな体制のもとで新年を迎えることとなりました。

第1輸送航空隊副司令着任





イスラエル・パレスチナの情勢に鑑み、10月13日（金）外務省から防衛大臣に対し、同国に滞在する邦人等輸送の準備の要請がありました。これを受け、防衛大臣は、航空自衛隊の輸送機をジブチ共和国まで移動させ、待機することを命じました。

本命令を受け航空支援集団司令官を指揮官とする在イスラエル国邦人等輸送統合任務部隊が編成され、速やかに所要の準備を整えるため、10月14日（土）小牧基地からKC-767空中給油・輸送機1機が出発し、C-2輸送機2機を含む3機体制での待機が開始されました。

21日（土）未明には、邦人等83名を羽田空港まで無事輸送しました。

また、24日（火）にはKC-767空中給油・輸送機1機が再び出発し、11月3日には邦人等46名を羽田空港まで無事輸送しました。協力された関係国等の皆様に謝意を申し上げます。

支援集団司令官初度視察

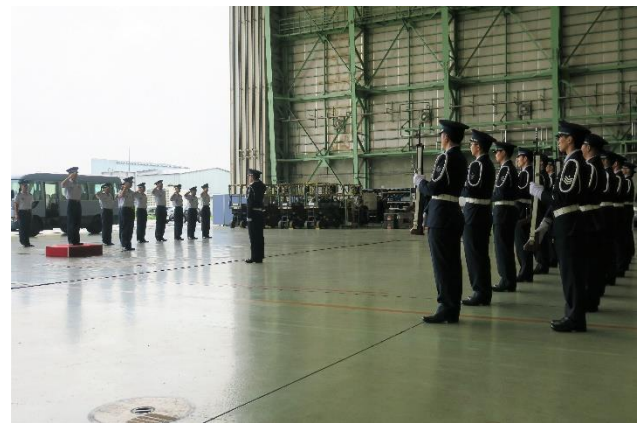


10月4日（水）航空支援集団司令官 森田空将が小牧基地を初度視察されました。

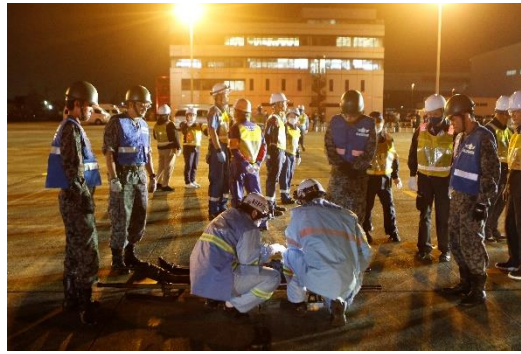
基地入門後、合同慰霊碑にて献花を行い、第7格納庫で儀仗隊による栄誉礼を受け、司令部合同庁舎前にて隷下部隊長と記念撮影を実施しました。

その後、エプロン地区においてK/C-130H航空機、特に空中給油装置を念入りに確認され、機動衛生ユニット、気象隊、管制隊、警備犬の順に視察されたのち、司令部庁舎で幹部隊員及び各准曹士先任との懇談に臨まれました。

午後は、各部隊長との懇談後、K/C-130Hでの帰路においてKC-767からK/C-130Hへの空中給油訓練をコックピットから視察されました。



愛知県名古屋飛行場消火救難総合訓練



小牧基地が参加した令和5年度愛知県名古屋飛行場消火救難総合訓練について紹介します。この訓練は、県営名古屋空港内での航空機事故を想定し、愛知県や消防、警察、民間企業等、官民約30を超える機関が消火・救難に関わる連携要領について訓練を行うものです。本訓練は年に1回を基準に愛知県が主催し、今年は10月5日（木）に夜間における適切な事故対処を目的として計画され、小牧基地からは第1輸送航空隊と小牧管制隊が参加しました。

愛知県との現地協定及び小牧基地救難計画に基づき、場内救難隊を編成し、場内救難隊長が消防班及び救護班を率いて各種活動を実施しました。消防班は、小牧基地が保有する消防車や給水車により、初期消火から消火完了まで全消防機関の先陣を切って消火活動を行い、救護班は、傷病者を迅速に航空機からトリアージ地区まで担架搬送を行い、医療従事者と連携して医療救護活動を行いました。

夜間の消火救難活動は周囲の暗さに加え、火災の煙や消火放水で発生する霧により、視界が悪く混乱する事故対応をより一層困難なものにすることを身をもって感じる事ができました。

小牧基地として引き続き事態対処能力の向上及び関係機関との連携強化に努めていきます。

令和5年度第1輸送航空隊銃剣道新人大会



10月6日（金）小牧基地体育館において、総勢約400名よる第1輸送航空隊銃剣道新人大会を開催しました。

大会は、午前は男女個人戦、午後は混成チームを含む編制単位部隊を単位とする10個チームの団体戦が行われ、「1分1本勝負」という試合展開の速さと、取って取られての均衡した試合で、会場内は甲高い声援と大きなため息が入り交じる大興奮の中、熱い戦いが繰り広げられました。最終結果は以下のとおりです。

個人戦（男性の部）

優勝 検査隊：山崎1士、準優勝 修理隊：藤村3曹、3位 第401飛行隊：佐々木3尉

個人戦（女性の部）

優勝 管理隊：森本3曹、準優勝 通信隊：土屋2曹、3位 会計隊：川田士長

団体

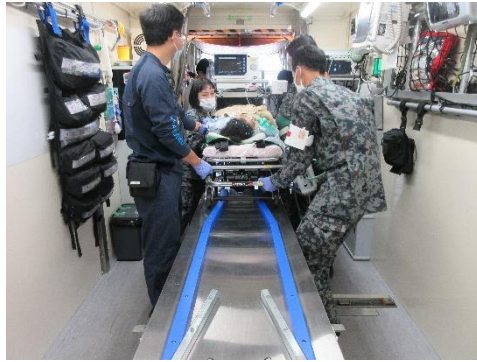
優勝 通信隊、準優勝 装備隊、3位 管理隊

最後に、救難教育隊、航空支援集団内での審判支援及び運営のために支援して下さった皆様のおかげで、大会を円滑に実施することができました。ご協力ありがとうございました！

第1輸送航空隊は、引き続き強化訓練を継続し、「銃剣道人類補完画」＝「銃剣道できる人・教えられる人の育成」を実行していきます。また、令和6年度は今回のリベンジマッチとして「第1輸送航空隊銃剣道リベンチャーズ大会」（仮称）を、令和7年度は、支援集団及び空自武道大会がそれぞれ開催予定です。興味をお持ちになった方はぜひ銃剣道訓練に参加してください。



災害派遣（患者空輸）



10月12日（木）災害派遣命令に基づき、航空機動衛生隊及び第1輸送航空隊は、新潟空港から伊丹空港間をC-130Hにて長距離患者搬送を行いました。当隊の搬送実績は今年度5件目（52症例目）となります。患者は50代の方で、難治性の重症心不全に対してVAD（植込型補助人工心臓）を導入する手術のために搬送となりました。IMPELLA（補助循環用ポンプカテーテル）という医療機器が導入されている方の搬送は、当隊において初めての症例でしたが、隊員による事前調整・準備をしっかり行い、トラブルなく搬送を行うことができました。

円滑な機上医療及び安全な飛行のためには関係部隊の緊密な連携が不可欠であることから、今後も任務の重責を念頭に置きつつ、基地一丸となって取り組んで参ります。

防衛・基地モニター第2回小牧基地研修



10月27日（金）に防衛・基地モニターの第2回小牧地基地研修を行いました。

前回、5月に行われた研修は第1輸送航空隊のみの研修であったため、今回は小牧基地に所在するそれ以外の部隊を研修しました。午前中は救難教育隊、航空機動衛生隊及び第5術科学学校の管制シミュレーターを研修し、昼食後は小牧管制隊、救難団整備群及び前回機内の見学が出来なかったKC-767を研修しました。

研修箇所が多く足早ではありましたが、普段は目にする事のない部隊の任務、役割や活動、そして飛行安全を支える多くの部隊で勤務する隊員の姿を直に見てもらった事が出来ました。

参加したモニターの皆様からは、「航空自衛隊の重要性を改めて感じた。どの研修も大変有意義だった。」との感想を頂きました。





第1輸送航空隊副司令 二木1佐が交代されるにあたり、隊司令副官トリオその②の加藤2尉が副官室での日々を振り返らせていただきます。

二木1佐は令和3年12月に1輸空隊副司令に着任されてから、鋭い視点と情熱で1輸空隊の運営を支え、的確に隊司令を補佐されました。一方、副官室では、人情溢れる上司&防大の先輩として、非常に楽しい雰囲気を作っていました。

隊司令室や副司令室というものは、一般的に厳粛な雰囲気が漂い、近づき難い場所だと思われています。私も当初は同じような考えでした。しかし、副官に上番して副司令との日々のコミュニケーションを重ねていくと、そんな事は全くありませんでした。特に喫煙所や宴会での副司令には、自衛隊での生き方、人生相談など、思い返すと数えきれないほどお世話になりました。操縦者、防大、そして人生の先輩として、よきお手本を示してくださったと感じています。

転勤先の支援集団司令部におかれましても、副官室一同、二木1佐の今後のより一層のご活躍を祈念しております。本当にありがとうございました





第1輸送航空隊司令渡部将補が交代されるにあたり、副官トリオその③、要2尉が副官室での日々を振り返らせていただきます。

渡部将補は令和3年9月に1輸空隊司令に着任されてから、広い視野及び勝ちにこだわるという信念のもと1輸空隊及び小牧基地の運営をされました。また、非常にユーモアに溢れており、鋭いツッコミと軽快なボケを武器に周りを明るくし、和ませてくださりました。持ち前の明るい性格で部下の能力を最大限に発揮させる指揮官であったと思います。

隊司令と副官は一心同体とよく言われますが、副官に上番をしてその意味がよく分かりました。司令の部隊及び基地運営する仕事環境を整えることが副官の仕事になります。言葉では簡単ですが、実際の業務は多岐にわたります。そばを離れず、一挙手一投足、ひとつひとつの発言に注意を払い、司令が何を考え、何を求めているのかを考えます。そこで司令の為に何が出来るか、そこそが副官の力の見せ所と思います。

私自身、渡部将補の期待に十分に答えられていなかったと思いますが、将官の傍で勤務するという貴重な経験は私の自衛隊生活の財産であると確言しております。転勤先の4空団におかれましても、副官室一同、渡部将補の今後のより一層のご活躍を祈念しております。本当にありがとうございました。

